

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和元年11月20日 VOL. 125

令和元年度地域ケア会議活用促進研修 ～本市の先進的な取組事例を紹介～

令和元年10月24日（木）掛川グランドホテルで、静岡県が主催して「地域ケア会議活用促進研修」が開催されました。この研修は地域の課題に対し多職種の視点により協議する地域ケア会議と支え合いの地域づくりを協議する協議体の目的と役割を再確認し、効果的に実施するためのもので、本市が先進的に取組を行っています。藤枝市から包括支援センター、市社会福祉協議会、市地域包括ケア推進課が出席しました。研修では、県長寿政策課から地域ケア会議と協議体における現状と課題の報告や、土屋幸己氏（（一社）コミュニティネットハピネス代表理事）による講義で地域ケア会議の役割や協議体との関係性、総合事業の在り方などが説明されました。



事例紹介をする
松下地域支援係長

その後、本市地域包括ケア推進課松下地域支援係長が藤枝市の生活支援コーディネーターの役割や現在進めている先進的な取組について発表しました。研修の最後に、市町ごとグループワークを行い、生活支援体制整備事業と地域ケア会議のつながりを再確認し、本市の取組を参考事例として今後の取組を検討しました。



県内の市町から
約80人が参加

アクティブシニアのための支え合いの地域づくりセミナーを開催！ ～シニア劇団「くれば座」が寸劇を通じて居場所の大切さを伝える～

令和元年11月5日（火）藤枝地区交流センターで、居場所や社会参加の必要性、生きがいを見つけることを伝えるために「アクティブシニアのための支え合いの地域づくりセミナー」（以下「セミナー」）を開催しました。今回のセミナーでは、NPO法人静岡団塊創業塾（理事長原田和正氏）のシニア劇団「くれば座」を招き、居場所や社会参加の重要性を伝えるための寸劇『公園の音楽家』を行いました。寸劇は社会問題となっているシニア男性の引きこもりが題材で、居場所に行くことで生きがいを見つけるもので、来場者は自分自身や家族の姿と重ね合わせ笑いが起こるなど、大いに盛り上がりを見せました。

その後、市社会福祉協議会、さわやかクラブ、市地域包括ケア推進課から事業、補助制度の説明を行いました。セミナー終了後に、くれば座の公演や事業の説明を聞き、活動に興味を持った方が各事業のブースに集まり、活動のための補助や支援について制度の詳細を確認しました。

セミナー参加者からは、「知らない活動もあって参考になった」、「モチベーションが上がった」など今後の活動に向けて前向きな発言をいただきました。

今後もセミナー参加者をはじめとする、アクティブシニアの活動を支援し、地域での支え合いや社会参加を推進していきます。



活動の紹介をする
理事長の原田氏



劇を披露する「くれば座」劇団員

